

勝高だより 11月号



第59号 平成21年11月20日発行
 岡山県立勝山高等学校 広報誌
 TEL (0867) 44 - 2628
 FAX (0867) 44 - 4730
 学校ホームページ
<http://www.katuyama.okayama-c.ed.jp>

11月後半の行事予定

- 21(土)~22(日) 代ゼミマーク模試
- 21(土) 保護者対象進路説明会
- 22(日) 全商ワープロ実務検定
- 12月(終業式まで)の行事予定
- 4(金) もみじ祭代休 商
- 5(土) 土曜日学習
- 7(月)~11(金) 期末考査
- 10(木) カウンセラー来校
- 11(金) 生徒による授業評価アンケート実施
アダプト事業
- 20(日) 全商英語検定
- 21(月) 漢字テスト
- 24(木) 終業式

プロジェクトK 仕事の達人



講師(敬称略)《職種》	講座内容
古谷 智美《医療ソーシャルワーカー》	「医療ソーシャルワーカーとは」
藤井 浩基《大学教職員》	「自分の感性を信じて ~私の音楽教育・研究活動~」
雪吉 晃子《研究者》	「農学部を卒業したら何が できる?」
杉本 幸枝《大学教職員》	「看護職への道」
竹内 成長《教育行政》	「カッコいい大人とは」
村松 美保《アウカー》	「わたしが喋るまで」
関根 将弘《検察官》	「検察庁の仕事」
池田 和宏《検察事務官》	
柴田 圭介《検察事務官》	
森田 学《地方公務員》	「真庭の魅力を伝える仕事 ~賑わいと安らぎの杜の都を目指して~」
河野 慶治《会社経営者》	「環境リサイクル事業への 取組について」
藤本 晴男《環境加ガラー》	「環境で未来をつかめ」
阪口 真《研究者》	「研究者とは何か?~理論 物理学の研究から見えるもの~」
岩城 貴史《研究者》	
清水 律子《大学教職員》	「語学を活かす仕事」



平成21年11月6日(金)5校時~7校時にわたって、各種分野で活躍されている社会人の方々を講師にお迎えして「勝高プロジェクトK(仕事の達人)」と題する講座が1・2年生を対象に開かれました。講座は全12講座で、生徒はこの講座から自分の将来を見据えた2講座を選択し、前半・後半に分かれて受講しました。各講師の方々の工夫をこらした内容・巧みな話術などを交えた講義に生徒たちは引き込まれていました。日頃、接する機会の少ない各分野の社会人講師の方々から、直接色々なお話を聞くことにより、学校ではなかなか学ぶことができない現場の生の話を聞くことが出来ました。また、今後の進路を選択する上で何らかの指針とする事が出来たかと思えます。

商業科
1年生

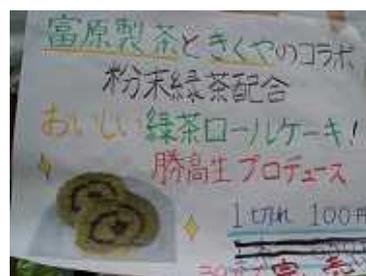
ふるさと勝山もみじまつり

勝高ショップ「安太郎」

勝山文化センターを会場に行なわれた「ふるさと勝山もみじまつり」に商業科1年生が参加しました。会社形式の組織を作り、企画・商品設定・仕入・販売・決算と自分たちで行い、流通の実習として参加しました。販売品目は果物・クッキー・飲料で、最初は慣れない販売に戸惑っていた生徒たちも次第にスムーズに作業が出来るようになり、それぞれの仕事を自分で考えて、声もしっかり出して協力し合いながら行っていました。

当日の天候は残念ながら曇り時々雨でしたが、「安太郎」のテントには多くのお客さんが訪れてくださいました。多様な年代のお客さんと接する事で、日頃授業で学んでいる内容がどのような形で実際の現場で役立っているのかを体験できました。

また、商業科3年生がプロデュースして作られた、「富原製茶」と「きくや」さんのコラボレーション『緑茶ロールケーキ』も同じ店舗の一角で3年生自ら販売しました。大変好評で、1時間程度であっという間に売り切れ、販売した生徒は自分たちで考えた商品を自分たちの手で完売させる喜びを感じていました。



中高合同あいさつ運動

11月10日(火)7時45分から、JR中国勝山駅において、生徒会役員を中心に勝山中学校と合同であいさつ運動をおこないました。

本校生徒・教員を合わせて13名と勝山中学校生徒・教員合わせて9名が参加し、駅から出てくるたくさんの人達に元気にあいさつをしていました。



第23回 岡山県高校生書道展覧会のご案内

11月24日(火)~29日(日)(9~17時 最終日16時まで)に岡山県天神山文化プラザ 第一展示室にて県下の高校の書道部などが一堂に会し、日頃の成果を発表すると同時に、互いの交流を深める目的で展覧会が開かれます。本校の書道部も成果の詰まった作品を出展します。ぜひ、御覧下さい。

鼓山祭にて

